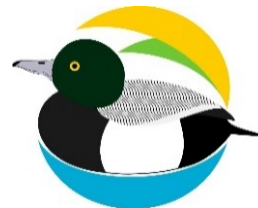


葛西東渚・鳥類園友の会

The Nature Club of Kasai Rinkai Park and Kasai Marine Park

ご紹介 *Introduction*



NCK



改 170701

会長挨拶



皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。
縁あって弊会にご関心頂きありがとうございます。
我々は都立葛西臨海公園、海浜公園を拠点に活動しております。当公園は自然環境保護のシンボルとして誕生し、都会にありながら生物多様性の活きづく稀な公園として多くの方に親しまれています。我々はその趣旨に添い、より良き公園にしたいと多岐にわたる活動を行っております。ボランティアとして、利害のない立場で自然と向き合い、その恵みに感謝しております。ご興味がありましたら、ぜひご一緒に参加され、身近な自然を楽しんでいただけたら幸いです。

会代表・会長 飯田陳也

できたのは（創立）



2000年5月

非営利の市民組織

会員数 105人(2017年06月現在)

世話人会： 9名

(毎年4月より新年度、総会にて選出／任期1年)

会代表・会長 飯田 陳也

目指しているのは



1. 葛西臨海公園・海浜公園及びその周辺で、生き物のあふれる豊かな自然を取り戻す。
2. 地域の人々と子どもたちの間に、自然に親しみ自然を大事にする心を育む。

やっていることは



1. ほぼ月1回のペースで一般または子ども向けに、東渚のゴミ拾いと生物観察、水質・水棲生物捕捉調べ、植物・昆虫・野鳥・クモ観察会、つる草取りとリース作り、クズ刈り、マダケ切り、竹細工講座、室内講演会などの活動を順次行っています。会員はもちろん一般募集も行い江戸川区報や地域新聞(葛西新聞等)でPR募集も行なっています。なおこの活動はえどがわエコセンターの助成を受けて行なっています。
2. 毎月第1・第3土曜日にNPO生態教育センター(土日に鳥類園ウォッチングセンターに常駐)と一緒に、又は独自で、加えて平日の毎第2・第4水又は木曜日に、下記の作業を行っています。
 1. 淡水池の通称“田んぼ”の草刈りなど環境改善
 2. 上の池・下の池北側でのクズ刈り(豊かな自然目指して)
 3. 同上でのマダケの間引きと整理(豊かな自然を目指して)
 4. カワセミ営巣用築山及び周辺とセイタカシギ営巣想定地のメンテナンス
3. 江戸川区主催の「ボランティアフェスティバル」「江戸川区民まつり」に展示参加しています。

植物・野鳥・昆虫・クモ 観察会

それぞれ年1回実施しています。葛西臨海公園は1989(平1)年に開園しました。以来今日までの間に様々な植物が育ち、野鳥が住み着いたり渡りの途中に羽を休めたりし、昆虫やクモも増えています。都市公園としては都内屈指の豊かな植生に恵まれています。それぞれ専門の解説者が、初心者にも分かりやすいように種名や生態を説明します。幅広い年齢の参加者が多様な生物の観察を楽しんで下さっています。



水質・水棲生物調べ

鳥類園で年 1-2 回実施しています。普段は立入れない淡水池・汽水池に立ち入り許可をもらいます。網を持って入り、魚やカニ、エビ、貝、水生昆虫などを捕まえます。多いときには30種類以上も捕れ、東京都指定の絶滅危惧種も数種類記録しています。水槽に入れた捕獲種を見ながら、専門家の解説を聞きます。観察会后、生きものは池に戻します。

また同時に二つの池の水を数カ所で採取し、塩分濃度、溶存酸素、ペーハーなど測定しています。淡水池の底に汚濁物質が堆積しているため水の汚れが心配です。



親子教室 (学びともの作り)

臨海公園鳥類園レクチャールームで室内講座を開きました。葛西や江戸川区の身近な生き物ー草花・昆虫・野鳥ーを例に、生物多様性を守る事の大切さについて学び合いました。

一昨年より、鳥類園で伐採したマダケを使い親子参加の竹細工講座を開きました。子供たちは、小刀などを使い自分で作った竹トンボや水鉄砲ですぐに遊び始め、目を輝かせていました。

年末には毎年恒例のリース作りをします。まず鳥類園でクズ刈りをし、そのツルを丸めて木の実などを飾り付け、マイリース作りを楽しんでいただきます。





環境改善作業

(アシ・ツル・マダケ・草刈り・漂着ゴミ拾い)

アシ、ツル、マダケ、雑草は、ほっておくと繁茂して生物の生息環境を損ないます。

行事として、また有志による月4回の定期的作業として、鳥類園の環境改善に取り組んでいます。

また、普段は野鳥保護のため立ち入り禁止の東渚に舟で渡り、年2回、漂着ゴミ拾いをしています。ゴミ拾い終了後は、植物、野鳥、魚介類や底生生物のミニ観察会を行っています。

セイタカシギ 営巣保護整備活動 カワセミ

(セイタカシギの産座整備／カワセミの築山整備)



セイタカシギ産座整備作業の様子 2006／1 第一号

鳥類園開園いらい10年程までは鳥類園が数少ない繁殖地のひとつでした。

このことから、営巣地の環境整備を進めればセイタカシギの繁殖復活が可能と考え、多くの支援者の賛同を得て産座整備作業に着手しました。



カワセミ築山改修作業の様子 2011／1 1～2012／2

園内の通称”田んぼ”の南側斜面に2004年7月頃からカワセミの営巣築山整備が始まりました。2007年に営巣し3羽の巣立ちを確認しました。しかしその後はいろいろトラブルに見舞われ営巣は実現していません。手入れしないと築山は崩壊するので定期的な改修を行っています。カワセミの営巣が定着する様、関係者は努力を続けています。

公園に係る 時事問題への対応

葛西海浜公園・三枚洲 東京初のラムサール条約登録湿地へ



過去には西渚のビーチバレーコート建設問題、最近ではオリンピックのカヌー競技場建設問題等、公園内の自然破壊に係る課題にも積極的に取り組み自然環境保護活動に力を入れて成果を出してきました。

また、自然を守る大きな力になると期待している課題があります。

葛西海浜公園の沖合に広がる三枚洲の干潟をラムサール条約に登録しようと云う運動です。弊会も賛同し活動に取り組んでいます。

今後も大規模な公園内の自然破壊が起きない様、「闘う友の会」として見守り積極的に課題に取り組んでいきたいと思ひます。

◆より良き公園をめざして◆ 公園SCとの定例協議

東京都公園協会(葛西臨海公園SC)

植栽ゾーニングの有り方、生物多様性と安全安心対応との調整

平成 25 年度より協議を始めました。

公園協会の安心・安全との立場と友の会の生物多様性を守りながら共生の森を育てたいとの要望のせめぎあいの協議が毎回行われています。

「虫たちの原っぱ確保」、「芦が池水路の復活」、「貴重種植生群落の保護」、「落ち葉溜りの設置」等の話し合いで自然保護の成果を出しつつあります。

また、生きものの集まる草花や日本古来の草花

(七草等)、浜辺に咲く草花の植生ゾーンの確保により特色ある公園への提言を行っています。

長年手入れがされていない鳥類園上の池の水質浄化対策を推進する協議も行っています。



江戸川区主催

ボランティアフェスティバル
江戸川区民まつり

展示参加

ここでは、当会の活動紹介が行われ入会案内を行なっています。
又当会の活動舞台でもある葛西臨海公園の紹介を行なうと共に同公園で観察された動植物の紹介も行なっています。
最近では、「葛西海浜公園・三枚洲の東京初の「ラムサール条約登録」推進活動も広くアピールしています。



ボランティアフェスティバル



江戸川区民まつり

江戸川区エコセンター 公園協会 助成による活動

弊会の年間催しは主に江戸川区エコセンターの助成を受けて活動を行っています。自然環境整備、自然保護啓蒙活動、環境調査等に使用する工具や資材等の調達の一部にこれらの助成金が役立てられています。

生きものの調査や植物調査は公園協会の助成を受けています。これらの調査は数年に跨る調査になり結果は都や国の環境部へも報告を提供しています。

何れの助成も、計画した規模に見合わない厳しい査定の助成金ですが、活動内容が認められたことと、結果が将来へ繋がる希望が持てることへの喜びを感じます。これからも活動内容が多くの方に理解され賛同を得て輪が広がることで評価を高めて行きたいと思えます。



環境を良くする運動 もったいない運動部門 江戸川区長賞 受賞



受賞式の様子



江戸川区主催の（15／06／06）第45回環境を良くする運動中央大会において、弊会が日頃の活動が認められ、もったいない運動部門において「えどがわ区長賞」を受賞しました。弊会は過去にも「環境を良くする運動」において受賞しており今回で2回目となりました。今後も多くの方と協力し環境整備活動を発展させて行きたいと思っています。



会報発行 & WebHP

隔月で会員向け会報を発行しています。

内容はその月毎の催した結果報告や、会員や協力者からの時事寄稿、特別取材記事等を載せています。

又、会員有志が毎月葛西臨海公園内での植物・昆虫・鳥の観察結果を写真と解説でWeb上にて（会員のみ）情報発信しています。



会報



WebHP



葛西東渚・鳥類園友の会

所在地

電話

F A X

E m a i l kasai.bird@gmail.com

一般向けHP <http://kasairinkaikouen.crayonsite.net/>



会費振込先 郵便振替口座番号 00110-3-370884
口座名義 葛西東渚・鳥類園友の会

世話人会の分担

会長	飯田 陳也
副会長	新居 正和
	(監査・ボラセン担当兼務)
総務担当 (主)	伊藤 貴堅
	(エコセン担当兼務)
総務担当 (副)	大野 新
広報担当	植草 秀夫
調査 担当	吉野 早苗
環境担当 (主)	関根 憲一
環境担当 (副)	伊藤 佳美
環境担当 (副)	橋本 直喜
会計担当	栗山 実
出納担当	山本八千代
常勤顧問	下野 稔
顧問	鈴木 弘行
アドバイザー	金森 光伸
アドバイザー	高橋 利行